

## 行政の窓 「日本の森を育てる木づかい円卓会議」提言書について

「日本の森を育てる木づかい円卓会議」は、国産材の持続的な利活用に向けて、その理念の構築と消費者・企業への呼びかけを図るために発足したもので、学識経験者、経済界、市民の民間メンバー14名で構成されています（事務局：日本木材学会）。円卓会議では4月に検討を始めて以来、検討を重ね、11月にその結果を提言書「木づかいのススメ」として公表しました。

### 木づかい円卓会議の提言5つのポイント～もっとやってみよう～

- 1 国産材製品を使うと、日本の森林は元気になる。もっと使ってみよう  
～まずはカートカンとプランターカバーから
- 2 国や地方自治体は、もっと本気になって国産材利用を実践しよう  
～まずは徹底的な国産材利用と積極的な情報発信から
- 3 企業は、国産材を使おうともしっかりと真剣に考えよう  
～まずは紙製品の見直しとオフィスへの木製品の導入から
- 4 国産材を積極的に使うことについて、NGOや消費者団体はお互いにもっと協力し合おう  
～まずは環境に配慮した買い物と学校での木材教育から
- 5 そして、家族で一緒に国産材に触れよう  
～まずは日曜大工や子どもの木工作から



カートカン  
(間伐材を使った飲料缶)

### 国産材利用の基本理念

#### ■持続可能な経済社会の基盤となる国産材利用へ

- エゴとエコがバランスよく共生する世界＝持続可能な経済社会が必要不可欠
- 森林を含む自然の環境機能も社会的共通資本の一部として捉え、持続可能な形で利用していく新しい経済社会のシステム＝「自然資本の経済」の形成が必要

#### ■国産材利用の新たな価値観

国産材製品を生産する「作り手」・国産材製品を販売する「売り手」・国産材製品を購入する「買い手」の三者がそれぞれの立場から協力・連携しながら利用拡大の取組を推進→広く社会的な合意形成へ

### 国産材利用の拡大に向けた取組

- 消費者への働きかけ…国産材利用を通じた森林整備への理解を醸成し、実際に国産材を使おうという消費活動へ
- 企業への働きかけ①消費者としての企業…環境配慮を企業経営に反映（国産材由来の紙製品やオフィス家具の調達等）  
②商品やサービスの提供者としての企業…消費者が国産材製品を容易に選択・購入できるような工夫を
- 普及・広報活動のあり方…芸能人やマスコミ等を活用した普及・広報活動や集中的・系統的なキャンペーン、学校等における森林・木材教育、家庭における木材とふれあう機会の創出、官・民・NGO等の連携
- 行政への提言…政府・自治体における国産材の率先利用、NGOや企業等への働きかけ

なお、報告書の全文については、日本木材学会のホームページ (<http://www.jwrs.org/office/entaku041115.html>) より見ることができますのでご参照ください。  
(水産林務部 木材振興課 林産振興グループ)

### お知らせ

#### ■□■ 「顔の見える木材での家づくり」講演&パネル展を開催します ■□■

「地域材を使ってみたい」「地域の山や森林について知りたい」という消費者の声に応えるためのネットワークによる家づくりの取組について、林業・木材産業の現状や住宅受注・着工動向や全国の家づくりネットワークの活動状況について紹介します。  
みなさまの参加をお待ちしております！

- ◆主 催：(財)日本住宅・木材技術センター(共催：北海道)
- ◆開催日時：平成17年1月27日(木) 13:30～17:00
- ◆開催場所：札幌コンベンションセンター「SORA」(札幌市白石区東札幌6条1丁目)(<http://www.sora-scc.jp/>)
- ◆開催内容：基調講演
  - 地域木材産業と工務店の活性化に向けて 山田事務所 所長 山田 稔 氏
  - 顔の見える木材での家づくりネットワークの事例紹介 (株)オプコード 所長 野辺公一 氏
- パネル展
  - 道産材の家づくり事例 ○道産材利用促進対策事業の概要
- ◆申し込み：北海道水産林務部木材振興課 上島(ウエジマ)まで 平成17年1月17日(月)までにお申し込み下さい！  
Tel：011-231-4111(内線28-482) Fax：011-232-1294  
E-mail：uejima.nobuhiko@pref.hokkaido.jp ※FAX・E-mailには所属・お名前・ご連絡先をご記入ください。  
ホームページ → <http://www.pref.hokkaido.jp/srinmu/sr-rnsn/information/>

